

令和5年度（2023年度）学校版環境ISOへの取組

＜ 学校名：山鹿市立めのだけ小学校 ＞

1 取組の概要報告

（1）取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<ul style="list-style-type: none"> ・バケツ1杯の水で掃除を行い、使った水は花壇にまくようにした。また、給食の牛乳パックを水洗いしたあとの水もバケツに貯め、花壇にまくことで節水を図った。 ・ごみの減量化を意識するために学校から出るごみを計量した。 ・節電、節水の意識を高めるために、環境委員会の校内放送で具体的な実践事例を紹介しながら呼びかけを行った。
行動		<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化を意識づけるために1年を通じ全校で毎朝ボランティアに取り組み、運動場の草取りや教室・廊下のごみ拾いを行ってきた。 ・環境委員会の呼びかけで1学期初めと運動会前に、「草取り合戦」という取組を行った。これは、それぞれのグループで取った草の量を競い合うというもので、給食時の放送で結果を発表し、楽しみながら学校の環境美化を図ってきた。 ・学校の至る所に、ヘチマやゴーヤ、朝顔のグリーンカーテンを作り、快適に夏場を過ごすことができるようにした。 ・1週間に1回、ごみ収集・測量を環境委員会の児童が行ってきた。また、校内放送で、手洗い時の水量を鉛筆程の太さにすることや教室の電気をつけっ放しにしないことを呼びかけることで、節水・節電に対する意識も高まってきた。 ・全児童で花植え、芋植えを行い、地域のリサイクル活動に参加した。活動を学級便り、ホームページで家庭・地域に知らせ、リサイクル活動を広く呼びかけた。
記録		<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に環境委員会で、各クラスから出るごみ収集を行い、ごみの増減を記録した。その結果をグラフで視覚化し、ごみの減量を訴えていった。 ・「びかびかコンクール」では、掃除を頑張ったクラスを表彰し、掃除に対する意欲を高めていった。コンクール実施の6月より12月の方が結果も良くなり、子どもたちの環境美化に対する意識も向上した。
見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・学校だけでなく家庭での節電・節水についての実践目標や結果をシートに記入し、環境に対して意識を高める取組を実践したい。 ・職員の学期末の反省に、廊下や階段の電気について節電の意識がまだまだ徹底していない現状が出されていた。来年度は、環境委員会からの節水・節電の呼びかけに留まらず、その結果や児童・職員の意識の変化を見るアンケートを行っていきたい。

（2）成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会や飼育栽培委員会の児童が中心になり、環境美化を呼びかけたことで、運動場の雑草がほとんどなくなり花壇には花がいっぱいの環境を整えることができた。 ・校内放送で「自分にできる環境 ISO」「自分にできる節電・節水」をテーマに、環境委員会の児童一人一人が具体的な実践を紹介したことで、全校児童の節電・節水に対する具体的な実践力が高まってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会の常時活動の一環として、各教室のごみ集めと計量を継続的に取り組んできたが、紙の再利用やごみ減量に向けての取組は、これからである。無理なくできるところから、進めていきたい。 ・本校では、学校と家庭、地域が一体となったリサイクル活動やエコ活動を計画的に実践してきた。集めた資源がどうなるのかを発信していくことで、さらに意識を高め、物や限りある自然への感謝などについて学校から発信していく必要がある。